

ふれあいだより

山田校区
ふれあい協議会

23年度総会

山田校区ふれあい協議会の平成二十三年度通常総会が四月三十日、黒埼市民会館で開かれました。事業計画、予算百十三万七千余円を全会一致で決め、今年度のスタートを切りました。総会に先立ち、区政懇談会として鈴木西区長との間で情報、意見交換を行いました。

事業推進に協力

決定した「健康福祉」「生活環境」「教育文化」三部会の事業計画は次の通りです。

健康福祉部会

歩け歩け健康ウォーキング
けやき公園中心に下
山田、ときめき東自治会との協働で実施。
(五月八日)
公園と周辺
クリーンデー
けやき公園を囲む一

帯で、夏休み前に行う
ふれあい作戦。(七月十八日)
新春囲碁・将棋
大会(二十四年一月十五日)
ふれあい健康教室
健康福祉センター、

生活環境部会

交通量調査
小学校区内の通学路について、制限速度標識を希望、その元となる交通量を調査する。ステーションに出されたごみ、資源の行方を知る
ごみ、資源の処理場を見学、ごみ出し、分別の意識を高める。
通学路外の車道や新幹線側道のごみ清掃
実情を調査のうえ、

清掃日や動員計画を決める。
昨年度実施のアンケートの現地調査
校区内の美化、安全衛生度を高めることを目標に、アンケート結果を審査し、所属自治会の範囲を超え、他者の目でその地域の問題点や危険箇所を発見、関係部署に改善を求め
* * *

山田小の校舎・グラウンド一体化訴える

総会に先立ち、鈴木区長を囲む区政懇談会が行われました。中心テーマになったのは、懸案の山田小学校校舎・グラウンドの一体化問題。井澤、玄蕃新旧

PTA会長がそれぞれ不自由な現状を説明、早期解決を要望しました。これに対し、鈴木区長は、最終決定は教育委員会に
あるとしながらも、一体化の重要性を認識し、前向きな結論が出れば、自転車道は弾力的に対処すると答えました。
区政懇談会で鈴木区長に

教育文化部会

チャレンジカップ大会
山田小で囲碁・将棋、オセロ、ゲートボール、ピンゴなどに挑戦、児童間の交流を図る。
地域芸能保存事業
よきこい踊り、

山田甚句が対象。太鼓、笛などの練習成果を新潟まつり、黒埼まつりで披露する。

紙芝居

児童を中心に創作と実現により発声、表現力向上に努める。
山田つ子祭り
小学校文化祭に「むかし遊びの部屋」などを企画する。
ゲートボール大会
(五月、九月を予定)

東日本大震災に義援金

総会は開会冒頭、東日本大震災の犠牲者に黙とうし、救済義援金としてそれぞれ5万円を、黒埼地区でまとめ社会福祉協議会に寄託することにしました。

紙芝居で民話楽しむ



総会のあと、宮本敏さんが紙芝居二題「たのきゅう」などを口演、そのくろうとはだしの熱演に、童心に帰った楽しいひとときでした。

自治協議会の新委員に川合さん

西区自治協議会の山田校区ふれあい協議会推薦の新委員に、教育文化部長の川合敏秋さん（山田甚句保存会長）が選出されました。

任期満了の青木さんと交代

自治協議会は新潟市が政令市になり区制が敷かれて平成十九年四月に発足、初代委員に青木留蔵さん（現ふれあい協議会会長）が選ばれました。

第三期協議会は四月二十八日、初会議が開かれ、会長に岡本松男さん（内野コミュニティー協議会会長）が就任し、それから二期四年の任期を満了し交代したものです。

個人会員

協議会は団体と個人で構成されています。個人の立場で積極的に地域活動に参加される方を歓迎します。

ご参加を歓迎します

迎えます。ご希望の方は各自治会長までご連絡ください。

「心豊かにいきいきと過ごそう」を合言葉に、健康福祉部会が二月二十八日、柳作公民館で「ふれあい健康教室」を開きました。

この日のポイントは

リフレッシュ体操と、自分の体の状態を知る体組成チェック。

検査の結果「実年齢より十歳も若かった」とはしゃぐ人もあちこちに。

楽しく体動かそう

